

長岡京市庁舎等再整備基本計画の全体構成と現時点の骨子（案）

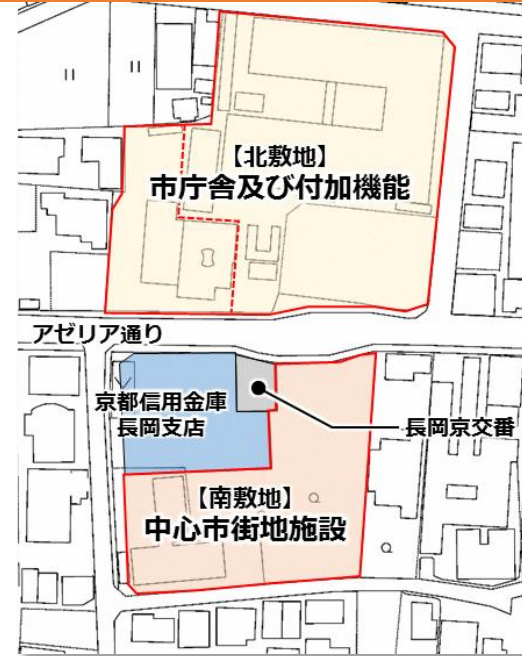
1 基本計画について

(1) 対象敷地と新庁舎等整備の基本的考え方

別紙資料 2：基本計画骨子(案)における建物の敷地や呼称

「長岡京市庁舎等再整備基本構想」（以下、「基本構想」という。）をもとに、対象敷地と新庁舎等整備の基本的考え方は以下の通りとする。

- ・北敷地（現本庁舎と現京都信用金庫長岡支店敷地）に市庁舎及び付加機能を整備。
- ・アゼリア通り南側には右図のように京都信用金庫長岡支店と長岡京交番を移転し、残りの敷地（南敷地）に中心市街地施設の整備を図る。
- ・新庁舎には分庁舎 1 の一部を除き、現在分散立地している部署を含め、市庁舎機能を集約。
- ・南敷地については、土地を市が所有したまま、定期借地方式などで民間事業者による施設整備・運営を基本とする中心市街地施設を導入。



(2) 基本構想で定めた新庁舎整備の基本理念・方針を踏まえた導入機能

基本理念	基本方針	導入機能
にぎわい溢れ、安心に包まれる、未来の長岡京を創造する庁舎	1. 市民の安全・安心を支える庁舎 災害に強い建物や非常時の機能を確保するなど、市民の生命と財産を守るための司令塔となる庁舎。	窓口・相談機能 (基本方針 2.3.4.6.)
	2. 市民に開かれた、にぎわいあるまちづくりの拠点となる庁舎 市民活動を支え、交流を育む、開かれたパブリックスペースを整備するとともに、長岡京市の多様な資源・アクティビティを活かした周辺のまちづくりとの調和を図ることで、にぎわい創出の拠点となる庁舎。	情報発信・ふれあい機能 (基本方針 1.2.4.5.)
	3. 経済性・環境性能に優れ、機能的な庁舎 ライフサイクルでの経済性・庁舎の環境負荷低減を見据えたうえで、利用者の機能性・効率性に配慮し、行政需要の多様化やICT技術の発展など、様々な変化に対応できる柔軟性がありかつ機能的な執務環境を備える庁舎。	市民交流・協働機能 (基本方針 2.4.5.6.)
	4. 誰もが利用しやすい庁舎 年齢や性別を問わず、利用する全ての人にとって快適で使いやすく、ユニバーサルデザインに配慮した庁舎。	にぎわい・憩い機能 (基本方針 2.4.5.6.)
	5. 豊かな緑と歴史が調和した長岡京らしい庁舎 西山から市街地への緑の流れや歴史を尊重した長岡京らしい景観に配慮し、訪れる人に豊かさを提供する庁舎。	バリアフリー機能 (基本方針 1.2.4.)
	6. 将来の変化に柔軟に対応出来る庁舎 将来における人口減少や少子高齢化など、社会状況の変化による行政サービスの多様化に柔軟に対応できる、未来を見据えた適正な規模の庁舎。	防災中枢機能 (基本方針 1.3.4.6.)
		行政執務機能 (基本方針 1.3.4.6.)
		議会機能 (基本方針 1.3.4.6.)
		環境配慮機能 (基本方針 1.3.5.6.)
		付加機能 (基本方針 1.2.4.5.6.)

2 新庁舎の導入機能

(1) 新庁舎の導入機能

別紙資料 3：新庁舎における窓口・相談機能の整備方針

窓口・相談機能	市民が気軽に安心して相談でき、窓口での各種手続きを円滑に行えるための機能
情報発信・ふれあい機能	市政情報をはじめ、観光等イベントや市民活動などの各種情報を発信し、市民等が必要な情報にふれあうことができるための機能
市民交流・協働機能	市民が利用する各種イベント、展示会、集会等に対応するための機能
にぎわい・憩い機能	市民が気軽に庁舎に立ち寄り、新たな交流や中心市街地の回遊やにぎわいを誘発する機能
バリアフリー機能	段差解消や移動円滑化された動線整備などの物理面、文字・情報面などで誰もが利用しやすいバリアフリー機能
防災中枢機能	災害発生時に市民等の救助やまちの復旧等を図るため、市長が直接指揮を執る災害対策の中枢となるための機能
行政執務機能	市政のさらなる能率的・効率的事務遂行を実現する執務機能
議会機能	市政の議決機関として、まちの持続的発展を担う議会を運営するための機能
環境配慮機能	庁舎のライフサイクルを通じて環境負荷を低減させるための機能
付加機能	上記機能を補完・発展させる、利便性の高い市庁舎への併設が望まれる付加機能

(2) 付加機能について

利便性の高い庁舎への併設が望まれる市内公共施設のうち、老朽化や耐震性の確保などの課題を現施設が有し、上記の新庁舎への導入機能を補完・発展させることが可能となる以下の 2 つの機能を付加機能として導入する。

① 産業文化会館機能

別紙資料 4：産業文化会館について

市民交流・協働機能、にぎわい・憩い機能を充実させ、市民が市庁舎を来訪する機会の増大、市庁舎機能とあわせた多様な市民活動の満足度向上を図るため、現在の産業文化会館の集会・会議・イベント開催機能を市庁舎に併設する。現産業文化会館は耐震性能の不足や老朽化、バリアフリー等の課題を抱えているため、市民の安全・安心および利便性向上にも資する。

② 保健センター機能

別紙資料 5：保健センターの庁舎との一体整備について

現保健センターは長岡天神駅から離れた場所に立地し、自動車以外でのアクセスが不便であるとともに施設の老朽化の課題も有する。主な利用者である乳幼児・児童及びその保護者のアクセス性向上と市庁舎の各種窓口・相談機能との一体的利用、分散化している行政執務機能の向上を図るため、市庁舎への保健センター機能の併設を図る。

3 新市庁舎の規模

4 新庁舎の配置計画

別紙資料 6：新庁舎の概略配置計画（素案）

(1) 配置計画

基本構想の配置案をベースに、次に示す配置計画を基本に検討を行う。配置計画の基本的考え方は以下の通りである。

- ・基本構想案では、仮庁舎建設なし・二段階庁舎整備を前提としており、アゼリア通り沿いに低層の庁舎（1期庁舎）と現本庁舎南・東棟部に高層の庁舎（2期庁舎）を建設。
- ・両庁舎に接する形状で北敷地南東部に市民広場を配置。
- ・市民利用が多い窓口・相談機能を1期庁舎低層部に集約配置。
- ・付加機能で市民の休日を含む利用がある産業文化会館機能、保健センター機能を2期庁舎低層部に配置し、産業文化会館機能は市民広場との一体的利用が可能となるよう2期庁舎南側に配置。
- ・議会機能は1期庁舎最上層に1フロアで配置。

(2) 景観方針

(3) 近隣への配慮

(4) 段階整備計画

(5) 駐車場・駐輪場の配置と動線計画

5 構造計画

別紙資料 7：耐震性能の目標と構造形式について

6 中心市街地施設の整備方針

7 事業計画

8 基本設計に向けて